



じもと

HOLDINGS

2016
9月期

特集

平成28年度 中期経営計画の実施状況

～中期経営計画達成に向けた「じもと」の取り組み～

じもとホールディングスディスクロージャー誌



きらやか銀行



仙台銀行

情報誌編



- [行員インタビュー] 本業支援への取り組み
- じもとグループトピックス
- [第9弾] 宮城・山形のじもとじまん - 宮城・山形のじもとの「景勝地」特集 -

Top Message

本年5月7日にきらやか銀行は設立10周年、じもとホールディングスは10月1日に設立5周年という節目の年を迎えます。これまでご支援いただきました皆さまに改めて感謝申し上げます。

当グループは、より多くのお取引先企業の皆さま、その企業の社員の皆さまにもっと喜んでいただけるよう「本業支援」を進化させてまいりました。そのキープポイントは、**お客さまと一緒に将来像を描き、課題を解決し、喜びを共有する**、ということです。このような「本業支援」を通じてお客さまとの強い信頼関係を築き上げたいと考えています。

また、じもとホールディングスは昨年11月に東京TYフィナンシャルグループと連携協定を締結したことにより、東京圏においてビジネスを考えるお客さまのニーズにもさまざまな形で応えできるようになりました。

これからも「本業支援」を進化させ、全行員が一丸となって行い、じもとの地方創生に貢献してまいります。

株式会社じもとホールディングス社長
株式会社きらやか銀行頭取

栗野 学



HUMAN PROFILE

栗野 学 (MANABU AWANO)

感銘を受けた本

「小説 あらしのよるに」
きむら ゆういち 著





株式会社 じもとホールディングス会長
株式会社 仙台銀行 頭取

鈴木
隆



平成27年4月にスタートした、じもとグループの中期経営計画は、本年度が計画の2年目となり、3年計画の最後の年である来年度には、じもとホールディングス設立から5周年を迎えます。

当グループの中期経営計画は、「本気の本業支援」と「本気の統合効果発揮」を2本柱に、グループの特徴を最大限に発揮し、更に進化発展させるために、専門分野への取り組み態勢や人材育成、地方創生への取り組みを強化するとともに、業務の統一化・集約化を図ることで、経営の効率化・合理化に取り組み、更なる統合効果の発揮を目指しております。

銀行とは、各地域から様々な情報が集まってくる組織です。銀行はこれらの情報を「**お客さまのために有効に活用していくことが重要な使命である**」と考えています。現在、少子高齢化や人口減少など地方が厳しい状況下にあります。だからこそ、私たちはもう一度原点に帰って本業支援を中心とした一連の金融仲介機能の更なる発揮を通して、地域経済や地方創生に貢献し、じもとグループの本業支援で宮城・山形の地域経済を元気にしてまいります。

HUMAN PROFILE

鈴木 隆 〈TAKASHI SUZUKI〉

感銘を
受けた本

「大空に賭けた男たち」
杉本 貴司 著

中期経営計画の実施状況

平成28年度計画

中期経営計画

平成27年度～29年度

「本業支援」の進化・発展

～本気の本業支援～

経営の効率化・合理化

～本気の統合効果発揮～

じもとホールディングスの特徴を 更に発揮します！

- ・本業支援における、専門性の高い分野への取組強化(担当部態勢、外部機関連携等)
- ・本業支援のレベルアップのための人材育成
- ・地方創生に関する取組強化

業務の共同化・集約化を目指します！

サブシステムの具体的な統一化を進めます！

- ・サブシステム・業務運営等の統一化推進
- ・本部管理部門の統合
- ・ホールディングスへの管理業務の集約化(持株会社の規制緩和を踏まえた対応)

実施状況

本業支援の態勢強化

- じもとホールディングス本業支援戦略部行員の増員(3名)
- 両行事業コーディネーターによる両行のお客さまへのペア訪問実施

地方公共団体との 地方創生連携強化

- 地方創生を意識した両行組織会の交流(きらやか銀行中央営業部が富谷町長の講話を聴講、他)
- 両行頭取と仙台市長、山形市長の4名による対談を実施

外部機関連携

- 第二地銀協会加盟行主催の地方創生「食の魅力発見」商談会への参加

人材育成

- 山形市と仙台市で保険会社との連携によるセミナー開催(ハラスメント・就業規則)

新事務センター設立 プロジェクトの発足

- 本部事務集中部門の統一に向け準備開始

両行が保有する サブシステムの統一

- 総数81のうち、24の統一が終了
- スケジュール化し今後も統一化推進

市場金融部門の 業務場所統一への準備

- 来年度の統一を予定(経理部、リスク統括部に続き3部門目)

業務フローの統一化推進

- 規程統一による両行業務フロー見直しにより、業務の効率化を図り経費削減効果を創出

お客様の未来を創造（想像）する本業支援

庄内町の有限会社菅原石材様は墓石販売業として、代表取締役である菅原社長様が創業し、以来地域に根差した営業を展開されてきました。墓石販売業界は、仏具店や葬儀場業者等の新規参入、人口減少、需要減少等により競争が激化しており、現状を打開したいという想いをお聴きし、後継者である菅原専務様が構想していた酒田市への新規出店の実現に向けたお手伝いをさせて頂くこととなりました。

事業計画を作成していく中で、疑問に思ったことは全てお聴きし、同業他社との差別化の必要性を共有することが出来ました。そこで販売戦略について専門家（よろず支援拠点）の力が必要であると考え、本業支援部と連携し、差別化の為の施策を検討しました。そして、それをベースとした新しい営業戦略確立の為何度も話し合いを行いました。

平成28年6月に新店舗をオープンし、順調に営業されております。当行の本業支援をご理解頂き、悩みや目標をお話頂けたことに大変嬉しく思います。今後もお客さまと経営課題を共有できるような行員になれるよう、日々学んでいきたいと思っております。



プロフィール

きらやか銀行 余目支店
櫻田 英明
渉外担当

趣味 ・ スポーツ観戦
・ 旅行



社内旅行 雷門の前で

VOICE 喜びの声



有限会社菅原石材
専務取締役 菅原 幸太 様

昭和54年から墓石販売業として、お客さまに満足して頂くことを第一に営業を行っております。代表である菅原正男が築いてきた弊社を引き継ぐ私としては現状に危機感を持っており、何とか打開していきたいと考えておりました。きらやか銀行の櫻田さんに相談したところ、事業計画書の作成方法や、営業戦略について一緒に考えて頂きました。

お陰様で無事に新店舗もオープン出来、大変感謝しております。今後も良きパートナーとして弊社を含め、中小企業の抱える悩みを共有して頂き、事業発展に向けてのサポートをお願いしたいと思っております。

本業支援でお客様の課題解決をサポート

宮城県角田市に本社を構える株式会社一條様は、昭和42年、鶏卵卸売業を中心に設立。その後、平成13年から自慢の「蔵王地養卵」と「めぶき卵」を使ったお菓子の製造販売、飲食業に本格的に進出し、現在、「森の芽ぶき たまご舎」の店舗名で多数の店舗を展開しています。

同社の一條憲一社長は、「たまご舎」のブランドの浸透とともにお菓子の需要が増加したことから、蔵王本店に併設された工場のみでの生産には限界を感じ、生産設備の拡充が必要との悩みを抱えていました。

長年に渡り当行とお取引をいただいている同社の悩みを解決することは、歴代の当行担当者の課題でもあり、大きな目標となっていました。

当行は、日頃から同社のニーズを聴取し、様々な情報提供を行っていましたが、課題解決に向けて大きく動き出したのは、村田町の支援・協力を受け、土地の取得が可能となった時でした。この「村田店舗・工場新築計画」が、同社設備面の経営課題解決を可能とするものであるとともに、道の駅や歴史みらい館、城山公園など、隣接する観光スポットとの相乗効果により、村田町の地域活性化にもつながる取り組みであることから、当行は同社計画に賛同し、本部との連携により同社の計画実現に向けた支援を開始しました。

当行では、まず、土地取得から店舗・工場の新築オープンまでの資金繰りのプロデュースに取り組みました。一條社長からは、「店舗デザイン、人員確保など様々なことを決めていかなければならないなかで、初めにメイン銀行として支援を決めていただき、非常に感謝している」とのお言葉をいただきました。また、その後も町からの助成に係るアドバイス、設備等に係るリースの斡旋、保険等に係る紹介など様々な支援をさせていただきました。

平成28年7月23日、念願の店舗兼工場「森の芽ぶき たまご舎 ファームファクトリー」がオープン。広大な駐車場を完備した店舗には、美味しいお菓子を求めて多くのお客さまが来店されています。

私は、今後もお客さまの声に耳を傾け、「本気の本業支援」を通じて、地域の発展に貢献していきたいと考えています。



プロフィール

仙台銀行 角田支店
木村 慶紀 主任
渉外担当

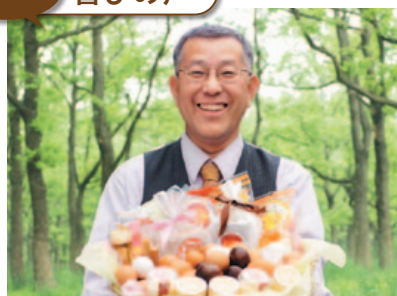


土日は、「イクメン」だけではなく、「カジメン」にも変身中！



新店舗兼工場「森の芽ぶき たまご舎 ファームファクトリー」

VOICE 喜びの声



株式会社一條 森の芽ぶき たまご舎
代表取締役社長 一條 憲一 様

弊社は創業以来、「蔵王地養卵」と「めぶき卵」という安全で美味しい卵を提供し、時代の流れと共に、今でいうところの6次産業化を先取りし、かたちを変え発展を続けております。

仙台銀行との取引は古く、旧行名の振興相互銀行時代からになります。いつも身近にある銀行として相談しやすく、今回の店舗兼工場の新築に関しても親身になって相談に乗ってもらい、支援していただきました。また、資金面に限らず、様々な情報を提供していただくなど、長年の課題解決の一助となっていました。

今後も、地域に根ざした店舗・商品作りに取り組みながら、ともに成長していきたいと考えております。引き続き、アドバイスやサポートをよろしくお願いします。

「本業支援」の更なる進化 ～コンサルティング子会社スタート～

当行は、「本業支援」を更に進化するため、平成29年1月1日に「きらやかコンサルティング&パートナーズ株式会社」を設立、新たにスタートいたしました。同社は、「きらやかキャピタル株式会社」の商号及び目的を変更し、従来から行っているベンチャーキャピタル業務の他に、事業承継対策支援やM&A支援等のコンサルティング業務・人材育成支援業務・経営戦略策定支援業務等を展開し、多様化するお客さまの事業ニーズに対し、より最適な本業支援を提供してまいります。コンサルティング業務に特化した子会社とすることで、お客さまの高度な経営課題にも応えられる体制を強化・充実し、経営戦略の柱である「本業支援」のさらなる進化として、銀行の枠にとらわれないコンサルティング業務を展開してまいります。



きらやかコンサルティング&パートナーズ株式会社

“利便性向上！”新店舗オープン

● 仙台泉支店がオープン

当行はお客さまの利便性向上を目的として、仙台支店 泉出張所を仙台泉支店として11月7日に新たにオープンいたしました。仙台市泉区の商業施設「セルパテラス」の2階に開設し、個人のお客さまに特化した店舗としてローンステーションも併設し、各種ローンの受付や資産運用等のご相談が安心してできる店舗づくりを行ってまいります。



仙台泉支店オープン

● 大山支店が新築移転オープン

当行はお客さまへのサービス向上を目的として、大山支店を移転オープンいたしました。新店舗はぬくもりのある県産材を使用しており、お客さまからもご好評をいただいております。ゆとりある駐車場を設置しバリアフリー構造にするなど、ご来店しやすい店舗とし、お客さまの利便性向上に努めてまいります。



大山支店新築移転オープン

硬式野球部 都市対抗全国大会で「特別賞」受賞・応援は「敢闘賞」受賞！

当行硬式野球部は、創部初、山形県勢66年ぶりの都市対抗野球全国大会出場を果たしました。7月19日に行われた初戦では延長13回の熱戦を展開し、山形県勢にとっても初めて全国大会での勝利をあげ、山形県の歴史を次々と塗り替えました。熱戦を繰り広げた硬式野球部は「特別賞」を受賞、「応援団」は皆様からの熱い応援のおかげもあり「敢闘賞」を受賞いたしました。これからも引き続き、当行野球部の応援をどうぞ宜しくお願いいたします。



写真提供：毎日新聞

東京ドーム初勝利の瞬間

「きらやか人材育成プログラム」の新設

お取引先企業の人材育成支援のため、本業支援の一環として、法人のお客さまの人材育成を階層別に実施してまいります。

●「きらやか人材育成プログラム」の主な構成

名 称	主な対象者	内 容	開催時期	参加人数
新入社員研修	新入社員	ビジネスマナー、社会人の基礎知識	H28.4	269名
きらやか経営者セミナー	経営者	組織マネジメント	H28.6	681名
きらやかビジネスセミナー	後継者、幹部社員等	“聴く”力向上	H28.7	48名
新入社員研修(フォローアップ)	新入社員	ビジネスマナー、社会人の基礎知識	H28.9	40名
きらやかマネジメントスクール	経営者、後継者、幹部社員等	企業経営に役立つ専門知識・技術	H28.9～H29.8	41名
地区別若手会合同セミナー	後継者、二代目	後継者・二代目としての心構え	H28.12	200名
きらやかレディースセミナー	女性社員	ビジネスマナー、管理職のマネジメント	H29.02	—
人間教育セミナー	後継者、二代目等	人間研修(作法等)	H29.02	—

“きらやかマネジメントスクール”開講

当行は、平成29年5月に10周年を迎えるにあたり、「きらやかマネジメントスクール」を開講いたしました。

本スクールは当行の取引先企業の後継者や幹部社員の皆様を対象に、山形大学の教授陣を講師に招き、1年間のカリキュラムで企業経営に係る実践的な知識や技術等を習得するものであり、今年度は41名の受講者が参加されております。



「きらやかマネジメントスクール」開講式

“若手合同特別セミナー”開催でアイリスグループ 大山健太郎会長 講演

当行は、「きらやか人材育成プログラム」に基づき、お取引先企業の若手会会員や若手経営者の皆様を対象とし、「若手会合同特別セミナー」を開催いたしました。本セミナーは事業を大きく発展させている経営者のお話を拝聴することにより、企業の後継者としての心構え、経営を学ぶとともに、参加者相互の交流を図ることを目的としております。

当日はアイリスグループ会長の大山健太郎氏が講演を行い、参加者は200名を超えました。



アイリスグループ 会長 大山健太郎氏

仙台銀行は“人で勝負する銀行”を目指します!! ～お客さまの満足度UPへ～

当行は、「人で勝負する銀行を目指す」ことを掲げ、お客さまの多様化する経営課題に対応するため、本業支援を支える職員の提案力・実践力をさらに向上させる取り組みを行っております。

若手職員を対象とした「若手職員融資道場」では、お客さまへの情報提供の方法や話法を学ぶロールプレイングなどを通して、お客さまへよりスピード感のある的確な融資提案を目指しております。

また、「本業支援研修」では、業種別目利き研修や事業承継研修など様々なテーマの研修を通して、本業支援の実践に必要な知識の習得や目利き能力の向上を図り、お客さまへより質の高い「本業支援」を提供することを目指しております。

当行は、お客さまとの信頼関係をより深め、満足いただける本業支援を実践するため、今後も人材育成の強化に取り組んでまいります。



若手職員融資道場



本業支援研修

「新しい東北」復興ビジネスコンテストへの協賛!! ～震災復興・地方創生に貢献～

当行は、復興庁が平成25年12月に創設した「新しい東北」官民連携推進協議会・復興金融ネットワークが主催する復興ビジネスコンテストへ協賛し、平成28年10月に開催された3回目となるコンテストにおいて、被災地地域金融機関として初めて協賛企業賞（じもと復興創生応援賞）を創設し、被災地気仙沼市のサメ皮を用いた商品の企画・販売を行っている株式会社シャークス様を表彰いたしました。

本ビジネスコンテストは、被災地における地域産業の復興や地域活性化を目的として、平成26年度より開催されており、当行は第1回より審査員の派遣などコンテストに協力しております。

当行は、今後も被災地の金融機関として、震災復興・地方創生に積極的に貢献してまいります。



じもと復興創生応援賞の授与



サメ皮を用いた様々な商品

「宮城の企業発見プログラム」の開催!! ～地域の復興・発展に貢献～

当行は、平成28年9月、地方創生への取組強化の一環として、宮城県内の企業ならびに大学等との連携により、県内の大学生等に対して県内企業の事業概要や業務内容等を紹介する「宮城の企業発見プログラム」を開催いたしました。

本プログラムは、地方創生を推進する観点から、県内企業11社が同時期にインターンシップを開催し、県内の大学生等へ地元企業の魅力を伝えることで、地元での就職を促す初の取り組みです。

当行では、頭取との座談会や若手職員による仕事の体験談、札勘定体験等を通して、銀行業務及び当行への理解を深めてもらいました。



頭取から熱いメッセージ

「ネット通販活用・ふるさと納税セミナー」の開催!! ～地方創生へ楽天と連携～

当行は、平成28年6月、お取引先企業の販路拡大の支援のため、楽天株式会社との連携により、インターネットショッピングモールへの出店ニーズがある企業等を対象とした「ネット通販活用セミナー」を開催いたしました。

また、同年6月、地方創生に向けた支援の一環として、楽天株式会社との共催により、地方公共団体の担当者等を対象とした「ふるさと納税セミナー」を開催いたしました。



ネット通販活用セミナー

TKC東北会との連携で中小企業の成長を支援!! ～地域社会の発展に寄与～

当行は、中堅・中小企業の持続的成長に貢献し、地域社会の発展に寄与するため、平成28年5月、TKC東北会と「中堅・中小企業の持続的成長支援に関する覚書」の締結をいたしました。

本締結により、TKC東北会との連携を強化することで、お取引先企業の課題解決や経営力強化に向けた支援に、更に取り組んでまいります。

当行は、今後も様々な連携を通じて、地域社会の発展に取り組むとともに、地方創生に積極的に貢献してまいります。



覚書の締結

地方創生“地域をつなぐ”取り組みについて

じもとグループのきらやか銀行と仙台銀行は、地方創生の一環として“地域をつなぐ”取り組みを行っております。今後も当社の経営戦略の柱とする「本業支援」を通して地方創生に積極的に取り組んでまいります。

(1) 両行のお客さま組織会への交流支援

- ① 平成28年7月、仙台銀行大富支店（富谷町）の紹介により、きらやか銀行中央営業部（山形市）お客さま組織会が富谷町へ訪問し、富谷町長による「地方創生」をテーマとした講話を聴講。



きらやか銀行新庄支店・仙台銀行古川支店のお客さま交流会

- ② 平成28年8月、きらやか銀行新庄支店（新庄市）と仙台銀行古川支店（大崎市）のお客さま組織会が交流会を実施。

(2) 地方自治体との連携強化

- ① 平成28年7月、両行頭取と仙台市長、山形市長の4名による対談の実施。（地域情報誌「りらく」に掲載）
- ② 平成28年9月、仙台銀行本店ロビーにおける山形県山辺町産業展の開催。



両行頭取と仙台市長・山形市長の対談



山辺町産業展

東京TYフィナンシャルグループとの連携協定

「地域の中小企業の皆さまに本業支援を实践する」という『同じ志』を持つ両金融グループによる連携を図ります。

連携の内容

(1) 本業支援に関する連携・協力

- ① 事業承継・M&A等の支援業務等に関する事項
 - ② ビジネスマッチング業務に関する事項
- (2) 両グループ内で保有する本業支援に関するノウハウの共有・高度化を図ることを目的とした情報交換会や共同研修の開催及び専門人材の育成・交流



『広域マーケット』における本業支援の实践を通じ、今まで以上に付加価値の高いサービス提供が可能！

じもとホールディングス連結業績

(単位:百万円、%)

	27年9月期	28年9月期	前年同期比	増減率
連結経常収益	21,889	22,449	559	2.5
経常利益	3,258	2,799	△458	△14.0
親会社株主に 帰属する 中間純利益	3,293	2,949	△343	△10.4

平成28年9月期の連結業績は、連結経常収益は224億49百万円、経常利益は27億99百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は29億49百万円となりました。

きらやか銀行・仙台銀行(単体)の2行合算

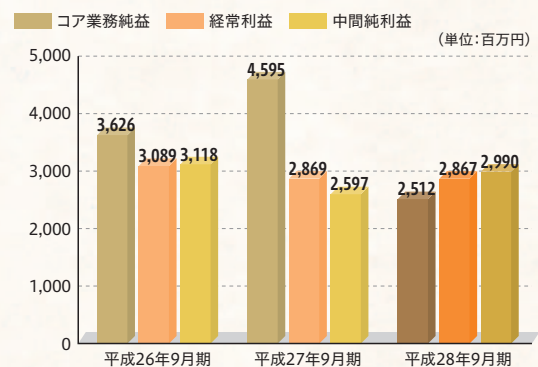
(単位:百万円、%)

	2行合算			
	27年9月期	28年9月期	前年同期比	増減率
経常収益	21,185	19,471	△1,713	△8.0
業務粗利益	17,205	15,831	△1,373	△7.9
経費 (除く臨時処理分)	12,902	13,088	186	1.4
コア業務純益	4,595	2,512	△2,083	△45.3
業務純益	4,950	2,742	△2,207	△44.5
経常利益	2,869	2,867	△1	0.0
中間純利益	2,597	2,990	392	15.0
貸出金	1,646,036	1,655,610	9,573	0.5
預金等 (譲渡性預金を含む)	2,436,851	2,358,046	△78,804	△3.2
有価証券	723,022	674,116	△48,905	△6.7

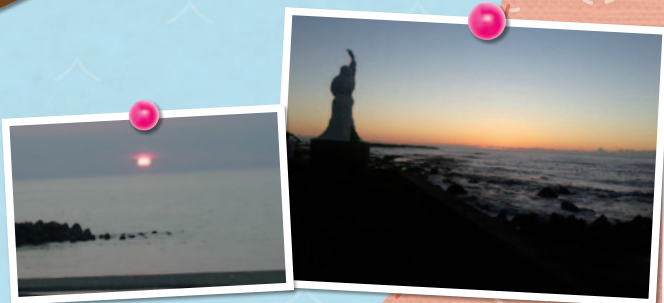
2行合算の経常収益は、前年同期比17億13百万円減少の194億71百万円となりました。

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したことや物件費の増加により、前年同期比20億83百万円減少の25億12百万円となりました。

経常利益は、前年同期比1百万円減少の28億67百万円、中間純利益は前年同期比3億92百万円増加の29億90百万円となりました。



宮城・山形の



湯野浜の夕日

日本海の絶景!!

湯野浜の夕日

絶景の海辺の夕日を見るなら日本の夕日100選に選ばれた湯野浜の夕日です。海岸の北には数十万本の黒松林と、さらに遠くには「鳥海山」の美しい姿が続きます。夕日で海岸線が結ばれており、その夕陽の情景はこのうえない優雅さを醸し出しています。湯野浜の夕日が特に美しく見えるのは、6月と11月と言われています。私も大山、湯野浜支店に勤務するまで見た事はありませんでしたが、初めて見たときに感動のあまり時間も忘れて眺めていました。皆さんも庄内に遊びに来た時には、みでけろの～。

Profile

入行6年目の一児のパパです。幼少期から野球をやってきており根性と粘り強さは誰にも負けません。大山支店全員でのチーム力も活かしながら「チーム大山」として全員でお客さまに喜んで頂けるよう、日々情報共有を行っています。日中業務で心掛けている事は、常にお客さまに対して笑顔と明るい挨拶を意識しています。これからも向上心を忘れずに何事にも前向きに取り組んでいきます!

きらやか銀行
大山支店

佐藤 友昭



鮭川村の文化財天然記念物に指定されている、1000年以上の樹齢をほこる天然杉で、高さ20メートルもある大木です。木のてっぺんが2つに分かれ、末広がりシルエットがトトロのように見えることから「トトロの木」としても有名になり、全国各地から多くの旅行客が訪れます。縁結びの杉、子宝祈願のパワースポットとしても知られており、雪深い地域のためベストシーズンの4月から11月にぜひお越しください。必見です!

Profile

現在はMA(マネーアドバイザー)を担当しています。お客さま一人ひとりに寄り添い、一番いいご提案ができるように、一昨年新設されたMAという自分の役割を全うできるよう日々業務に取り組んでいます。休みの日は「スポーツ観戦」や「旅行」でリフレッシュしています。

きらやか銀行
谷地支店

加藤 綾華



「トトロの木」で有名な

小杉の大杉



小杉の大杉

高畠町では通常5月に咲くぼたんが真冬に見られるイベントがあります。真っ白な雪景色の中、鮮やかな牡丹が彩りを添え、まるで真冬のお花見のような風情が漂います。メイン会場である高畠太陽館を中心に約70品種(80鉢)のぼたんが町内各所に展示されます。わらで編んだ「こも」の中に咲くぼたんは風情豊で心を癒してくれます。是非、まほろばの里の冬の風物詩を是非ご堪能ください。

Profile

山形県庄内町(旧立川町)出身。法人渉外を担当しています。きらやか銀行独自のビジネスモデル「本業支援」は半年毎に進化しております。私たちもお客さまにより進化した本業支援を行えるように、日頃からお客さまのもとに数多く足を運び、必要とされる本業支援は何なのかを一緒に考えることを心掛けております。休日は子供達と一緒にスポーツをして楽しんでいます。

きらやか銀行
高畠支店

渉外課長
池田 周平



雪の中で咲く
大輪のぼたん!

まほろば冬咲き
ぼたんまつり



まほろば冬咲きぼたんまつり

じもとの「景勝地」特集



おいしいスイーツき
味わうこともできる！

柳津虚空蔵尊

登米市津山町にある宮城柳津虚空蔵尊は、山口県柳井、福島県会津柳津の虚空蔵尊と並び日本三大虚空蔵尊の一つに数えられています。ご本尊の虚空蔵菩薩は、秘仏として三十三年に一度、御開帳されます。また、敷地内には「お寺Cafe夢想庵」があり、「やくよけそば」や仙台麩のラスク・白玉ののった夢想庵オリジナルの「仙台麩パフェ」など、ユニークでひとつひとつ手の込んだメニューをお寺のゆったりとした雰囲気の中で味わうことができます。

Profile

私は現在、渉外業務を担当しています。日頃から「じもと」の銀行だからこそ出来ることはないか」と考えながら、業務に取り組んでいます。これからも、情報収集のアンテナを高く持ち、「本気の本業支援」に取り組む、より多くのお客さまに喜んでいただけるよう努めてまいります。

仙台銀行
津山支店

高平 恵介



落ちろろろ落ちない
巨石が有名！

釣石神社

石巻市北上町にある釣石神社は、縁結び・夫婦円満・子孫繁栄などにご利益のある神社です。釣石神社の名前は、ご神体の巨石をしめ縄で釣りあげていて今にも落ちそうに見えることに由来しており、幾多の災害でもビクともしなかったことから、受験の神様としても有名です。

毎年12月中旬には、「ヨシ門松」と「葦の輪」が設置され、お正月には、合格祈願の受験生や会社の景気支えの祈願などに県内外から多くの参拝者が訪れます。

Profile

私は石巻出身で、現在、預かり資産渉外を担当しています。お客さまのお話をしっかりと聞き、最適な金融サービスを提供できるよう、職員みんなで力を合わせ日々の業務に励んでいます。「笑顔で元気に」を心がけ、また会いたいとお客さまに思っていたけような銀行員を目標に、これからも一生懸命頑張ります。

仙台銀行
石巻支店

三浦 大輝



写真提供：石巻市観光課



熊野那智神社

東北屈指の霊場！

名取熊野三社

熊野神社は、全国に3,000社以上あり、そのうちの約700社が東北地方にあるといわれています。

なかでも東北の熊野信仰の中心的存在にあるのが名取市にある「名取熊野三社」で、「熊野本宮社」「熊野神社(旧新宮社)」「熊野那智神社」で構成されています。

熊野信仰は、「熊野本宮」「熊野新宮」「熊野那智」の三山信仰を中心としており、地元では「熊野神社」として信奉されています。地方では三社合祀が多いですが、名取では珍しく三社がそれぞれ勧請されています。

Profile

私は現在、預金窓口を担当しています。窓口はお客さまが来店されて最初に目が行くところですので、お客さまに気持ちよく来店していただけるよう、常に迅速かつ丁寧な手続きを心掛けています。これからもお客さまから愛される銀行員となるよう日々努力してまいります。

仙台銀行
名取支店

佐々木 菜摘



熊野本宮社

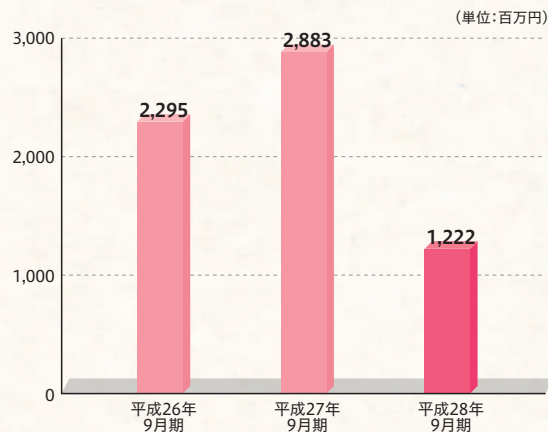


熊野神社(旧新宮社)

業績ハイライト（単体）

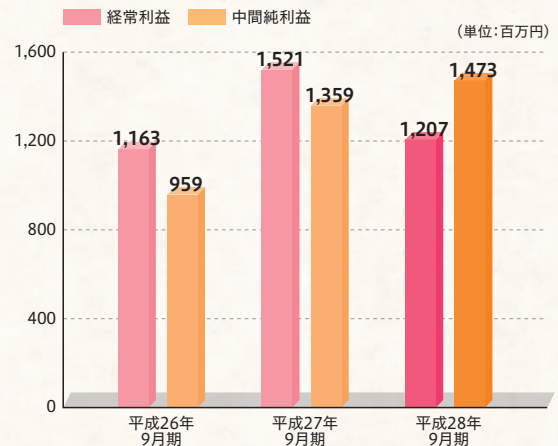
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したことなどから、前年同期比16億61百万円減少の12億22百万円となりました。



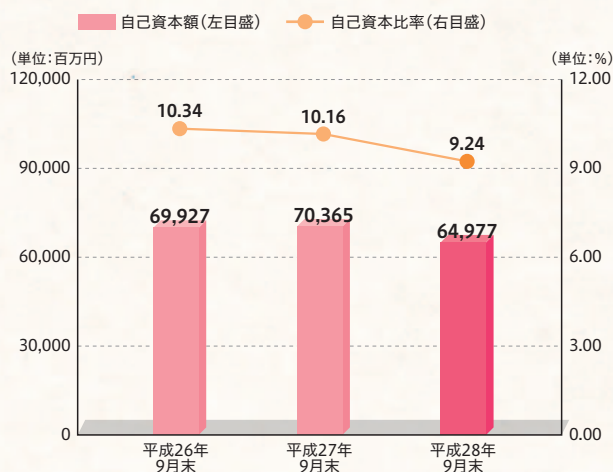
経常利益・中間純利益の状況

経常利益は前年同期比3億14百万円減少の12億7百万円、中間純利益は前年同期比1億14百万円増加の14億73百万円となりました。



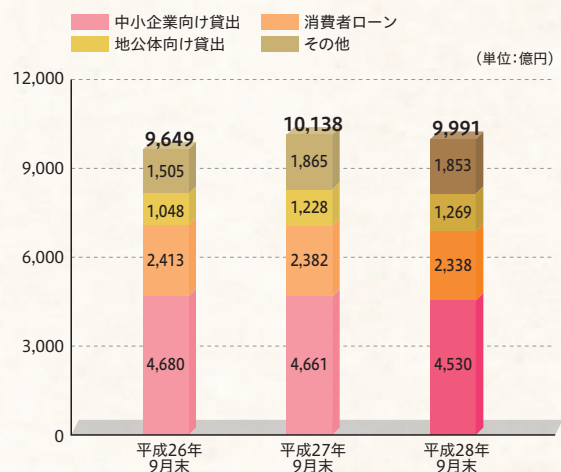
自己資本比率の状況

自己資本比率は、劣後特約付社債等61億円を平成28年3月期に期限前償還したことで自己資本額（分子）が減少したことから、平成27年9月末比0.92ポイント低下の9.24%となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、市場性ローンが償還により136億69百万円減少したことなどから、平成27年9月末比146億35百万円減少の9,991億69百万円となりました。中小企業等を含む事業性融資については、ほぼ横ばいとなっておりますが、事業性融資先数は、平成27年9月末比145先増加しております。

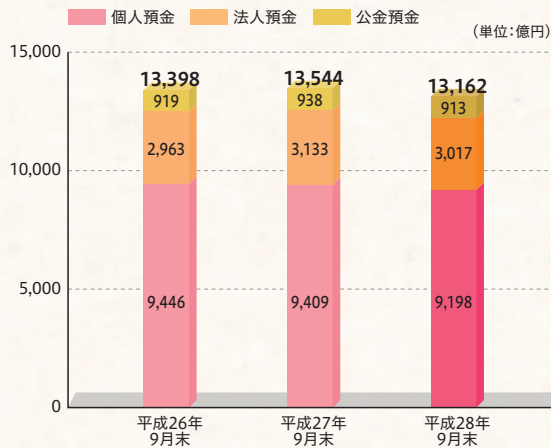


用語解説

■ コア業務純益 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

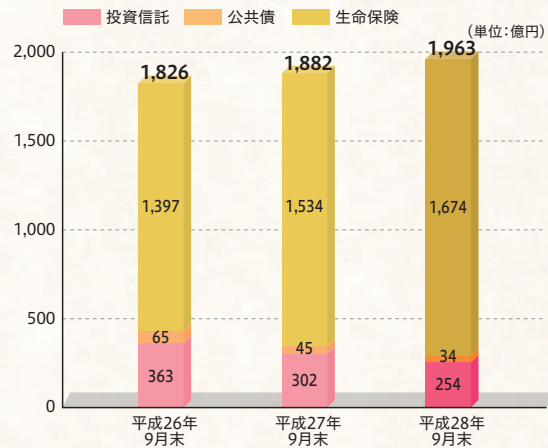
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、平成27年9月末比381億58百万円減少の1兆3,162億44百万円となりました。法人預金は、平成27年9月末比116億33百万円減少の3,017億14百万円となりましたが、平均残高は前年同期比93億11百万円増加の2,943億56百万円となりました。



預かり資産の状況

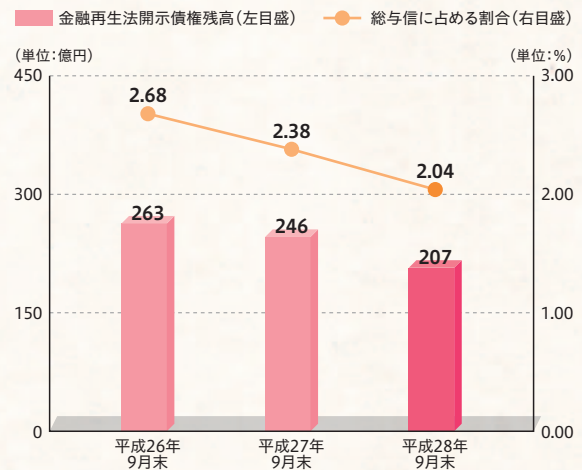
預かり資産残高は、安定志向にあるお客さまニーズの取込みなどにより生命保険残高が増加したことなどから、平成27年9月末比80億94百万円増加の1,963億72百万円となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、平成27年9月末比38億40百万円減少の207億82百万円となりました。総与信額に占める割合は、平成27年9月末比0.34ポイント低下の2.04%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。

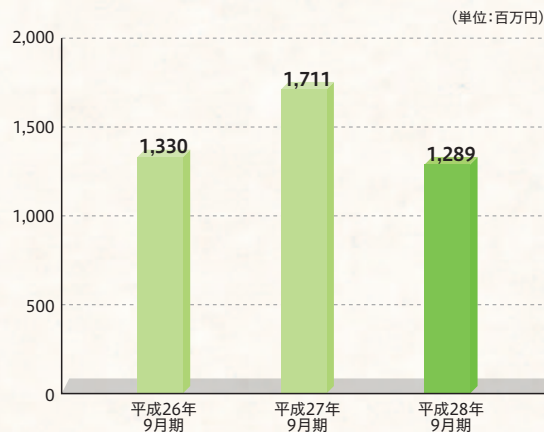
■ 中間純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

業績ハイライト（単体）

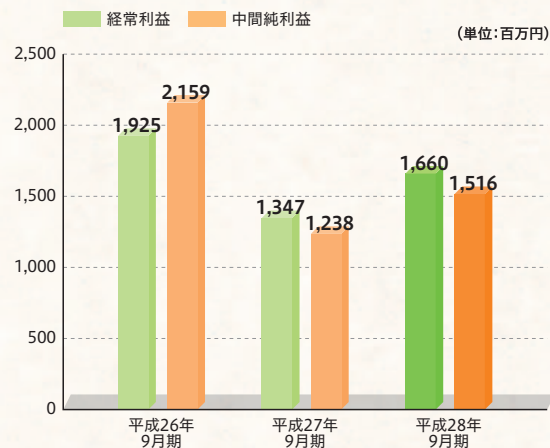
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益及び役務取引等利益の減少に加え、経費の増加などから、前年同期比4億21百万円減少の12億89百万円となりました。



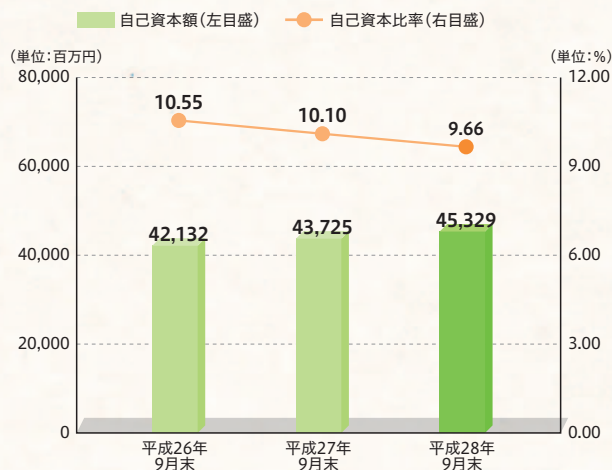
経常利益・中間純利益の状況

経常利益は、前年同期比3億13百万円増加の16億60百万円、中間純利益は、前年同期比2億78百万円増加の15億16百万円となりました。



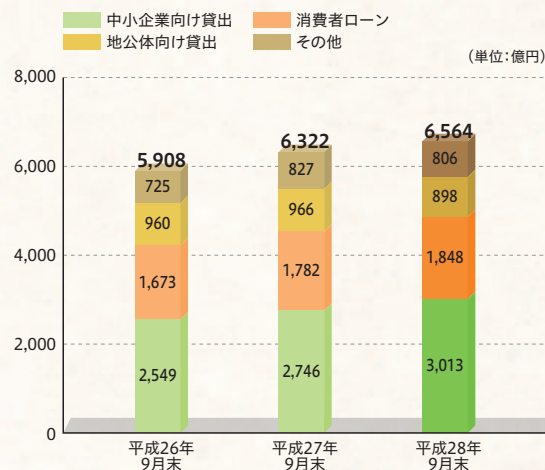
自己資本比率の状況

自己資本比率は、中間純利益を15億16百万円計上し、自己資本額（分子）が増加しましたが、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット（分母）が増加したことなどから、平成27年9月末比0.44ポイント低下の9.66%となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、お客さまの様々な資金需要への積極的な対応により、中小企業向け貸出や住宅ローン、個人ローンが増加したことなどから、平成27年9月末比242億9百万円増加の6,564億41百万円となりました。

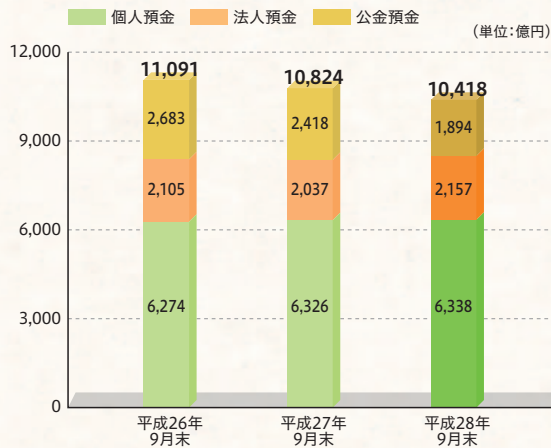


用語解説

■ コア業務純益 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

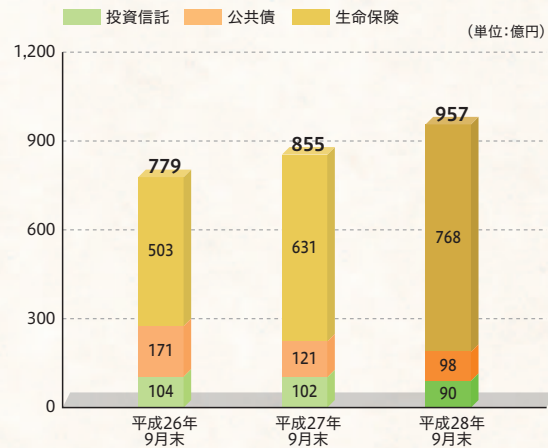
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、公金預金等の減少により、平成27年9月末比406億45百万円減少の1兆418億1百万円となりました。



預かり資産の状況

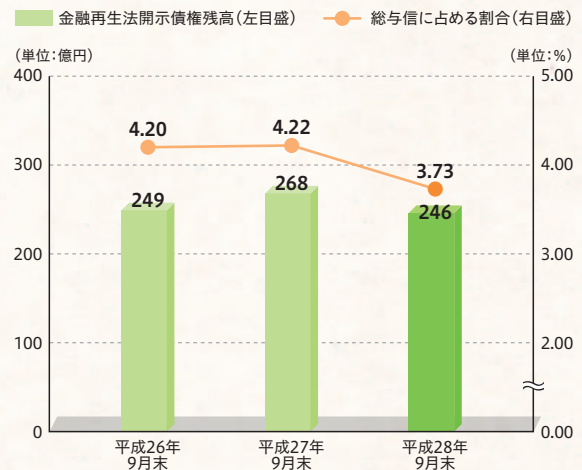
預かり資産残高は、お客さまの資金運用ニーズへの対応により、生命保険残高が増加したことなどから、平成27年9月末比102億31百万円増加の957億51百万円となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、平成27年9月末比22億39百万円減少の246億42百万円となりました。総与信額に占める割合は、平成27年9月末比0.49ポイント低下の3.73%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。

■ 中間純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

プロフィール・ホームページのご案内

じもとホールディングス

- 本店所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
- 電話番号 022-722-0011(代表)
- 設立年月日 平成24年10月1日
- 資本金 170億円
- 上場取引所 東京証券取引所

●ホームページ

<https://www.jimoto-hd.co.jp/>



じもとホールディングスの概要、経営戦略、財務データ、IR情報などの最新の情報をご覧いただけます。

きらやか銀行

- 本店所在地 山形市旅籠町三丁目2番3号
 - 電話番号 023-631-0001(代表)
 - 設立年月日 平成19年5月7日
 - 資本金 227億円
 - 預金・譲渡性預金 13,162億円
 - 貸出金 9,991億円
 - 従業員数 1,004人
 - 店舗数 118カ店(県内99カ店、県外18カ店)(注)
- (注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗統合による実質店舗数は73カ店(うち出張所2カ店)(県内56カ店、県外16カ店、その他1カ店)。

●ホームページ

<https://www.kirayaka.co.jp/>



取扱商品、サービスやキャンペーンのお知らせなど、さまざまな情報を詳細かつスピーディーに掲載しております。全国的に人気のあるインターネット専用支店もご利用いただけます。

仙台銀行

- 本店所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
 - 電話番号 022-225-8241(代表)
 - 設立年月日 昭和26年5月25日
 - 資本金 224億85百万円
 - 預金・譲渡性預金 10,418億円
 - 貸出金 6,564億円
 - 従業員数 704人
 - 店舗数 73カ店(注)
- (注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗統合による実質店舗数は62カ店(うち出張所4カ店)。

●ホームページ

<https://www.sendaibank.co.jp/>



各種商品、サービス、セミナーのご案内など多彩な情報をタイムリーに掲載しております。また、営業店レターでは仙台銀行のある街のとおきの情報をお届けします。



じもとホールディングスでは、当社の経営方針や両行の経営状況をご理解いただくために、IR(インベスターリレーションズ)を定期的で開催しております。

平成28年9月期IR(平成28年11月～平成29年1月開催)のハイライト映像をホームページでご覧いただけます。

IR開催日程はホームページ(じもとホールディングス・きらやか銀行・仙台銀行)でご案内致します。ぜひお越しください。

株式会社 じもとホールディングス 総合企画部

〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-722-0011(代表)
<https://www.jimoto-hd.co.jp/>

株式会社 きらやか銀行 経営企画部

〒990-8611 山形市旅籠町三丁目2番3号
TEL.023-631-0001(代表)
<https://www.kirayaka.co.jp/>

株式会社 仙台銀行 経営企画部

〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-225-8241(代表)
<https://www.sendaibank.co.jp/>